



平成30年3月15日

各 位

会 社 名 SAMURAI&J PARTNERS株式会社  
 代表者名 代表取締役 安藤 潔  
 コード・上場 4 7 6 4 ・ J A S D A Q  
 問合せ先 取 締 役 山口 慶一  
 電話番号 0 3 - 5 2 5 9 - 5 3 0 0 (代表)

## 平成 30 年 1 月期連結業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

平成30年1月期会計年度(平成29年2月1日～平成30年1月31日)の当社連結業績につきまして、  
 前期(平成28年2月1日～平成29年1月31日)実績値との間に差異が生じたので、下記のとおり  
 お知らせいたします。

## 記

 1. 平成 30 年 1 月期連結業績(平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日)の連結業績と前期  
 実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 148	百万円 ▲86	百万円 ▲83	百万円 ▲143	円 銭 ▲5.32
当期実績(B)	382	▲182	▲195	▲124	▲4.49
増減額(B-A)	234	▲96	▲112	19	—
増減率(%)	158.3	—	—	—	—

(注) 当社は、平成 30 年 2 月 1 日付けで普通株式 1 株につき普通株式 10 株の割合で株式分割  
 を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当  
 たり当期純損失金額を算定しております。

## 2. 差異の理由

### ①売上高

当連結会計年度において新たに立ち上げた金融関連事業の売上が加わったことを主な要因として前期実績値から234百万円増加の382百万円となりました。

### ②営業利益

前述のとおり売上高が増加したほか、自社ビル賃貸事業において含み益のある不動産の売却及びより高収益の賃貸不動産の運用により20百万円の増益、金融関連事業において新規投資案件による差益により10百万円増益となりましたが、ITサービス事業において、以下の要因により売上高の減少となり58百万円の減益、管理体制の強化を目的とした人件費及び支払報酬等の増加により68百万円の減益が生じた結果、前期実績値から96百万円減少の▲182百万円となりました。

#### (ITサービス事業による減益の要因)

当社では、平成29年8月7日付開示資料「業務提携の解消に関するお知らせ」に記載のとおり、アズ株式会社に対し平成26年9月以降クラウド型デジタルデータ化サービス「BizIT」を提供しておりましたが、アズ株式会社において損益が極めて厳しい状況であることから、当社サービスの利用を平成28年10月31日に停止し、平成29年2月28日をもってアズ株式会社との間の業務提携を解消しました。当該業務提携解消により、契約満了日の平成31年1月までに得られるはずであった月額4百万円(通期で48百万円)の売上の減少およびシステム受託開発における新規顧客からの受注の伸び悩みが減益の要因となっております。

### ③経常利益

営業利益の減益要因に加えて、主に第三者割当有償増資の実行に伴う新株交付費8百万円を含む、営業外費用15百万円及び営業外収益2百万円が発生したことから、前期実績値から112百万円減少の▲195百万円となりました。

### ④親会社株主に帰属する当期純利益

平成29年5月30日付開示文書「当社連結子会社の固定資産譲渡及び特別利益(固定資産売却益)の計上に関するお知らせ」及び平成29年8月14日付開示文書「固定資産の譲渡契約締結及び特別利益の計上に関するお知らせ」に記載するとおり、特別利益として固定資産売却益を合計103百万円計上したことから、前期実績値から19百万円増加の▲124百万円となりました。

以上